

盛岡地域アカマツ等利用促進連絡会議の開催について

1 はじめに

盛岡広域振興局林務部では、管内に豊富にあるアカマツや広葉樹資源の有効活用に向け、県産木材を積極的に活用している設計士、施工業者、製材業者、森林組合及び行政が情報を共有・連携して利用促進を図ることを目的に、連絡会議を開催しています。

今年度は、令和3年12月2日に意見交換と現地研修を行いましたので、その内容について報告します。

2 室内会議

まずはじめに、各会員からアカマツや広葉樹材利用についての今年度の取組状況と来年度の取り組み予定について報告いただき、情報共有を図りました。

設計士・工務店の構成員からは、岩手県森林組合連合会が運営している「木の家ナビ」を活用した県産材利用住宅の普及PRの取組や、小学生を対象にした木とふれあう活動などの積極的な取組が報告されました。

意見交換では、アカマツを利用する上での課題として、「伐採時期が限られるため、早め早めに必要な量を把握し、素材を準備しておく必

要がある」ことや、「生産量が少ない広葉樹を利用する場合にも、程度の保管場所が必要だ」との意見が出されました。

また、ウッドショックの影響で木材が手に入りにくい状況のなか、これまで県産材を中心に使用してきた工務店では、その影響が少なく、特に工期に遅れが生じることがなかったとのことでしたが、これを機会に、従来外材が大半を占めていた部材にアカマツの利用を定着させる取り組みが必要との意見が出されました。

3 現地研修

現地研修では、令和3年度にいわて木材利用優良施設コンクールで岩手県知事賞を受賞した、盛岡セイコー工業株式会社の「グランドセイコースタジオ雫石」を見学しました。

スタジオでは、木材をふんだんに使った施設や、高級時計の製作の様子を見学することができ、企業のモノづくりに対する姿勢に皆さん関心を寄せていました。

4 おわりに

盛岡広域振興局では、今後も関係機関と連携し、様々な事例づくりを展開しながら、アカマツや広葉樹の利用促進を図って行きます。



室内会議の様子



グランドセイコースタジオ雫石の見学